

# おいでやす京都へ

子どものことばと表現の魅力を語り合おう

2015年  
8月1・2・3日  
京都市  
龍谷大学大宮学舎・平安高校



先生ありがとう  
私に書いてくれた赤ペン  
なみだが出るくらいうれしい  
本当に  
当たり前のことかもじれないが  
ひさしぶりだから  
こんなやさしい言葉 (6年)

8月1日 (土) 開会全体会 (龍谷大)  
8月2日 (日) 分科会 (龍谷大)  
8月3日 (月) 講座 (平安高校)  
閉会全体会 (龍谷大)

講演 (8/1) 浜矩子 同志社大学教授  
「経済活動は人間の営み  
——子どもを幸せにする経済のあり方——」

講演 (8/3) 高垣忠一郎 元立命館大学教授  
「生きることと自己肯定感」

## 第64回 全国作文教育研究大会

すべての子どもに  
生活に根ざした表現と  
生きる力を

主催 / 日本作文の会 共催 / 京都綴方の会・京都市つづり方の会

- 大会についてのお問い合わせは下記へ  
日本作文の会 〒113-0033 東京都文京区本郷 1-20-6 tel. 03-3812-1493 fax. 03-3811-4590
- 予約、宿泊に関するお問い合わせは下記へ  
(株) 近畿日本ツーリスト 京都支店 「64回全国作文教育研究大会」係 (担当 東・田村)  
tel. 075-221-7401 fax. 075-223-5192

8月1日(土)

開会全体会

龍谷大学

開場・受付開始

和太鼓演奏とブレイクダンス

Try! Sky! High!  
つばさ太鼓

開会・開会挨拶

日本作文の会常任委員長

パネルディスカッション 第一部

「子どもは元気か? —— ことば・表現にこだわって考える ——」

基調提案

得丸浩一

日本作文の会副任委員長

パネラー

尾崎望

小児科医師

石塚かおる

児童養護施設「つばさ園」園長

藤島由依子

京都府小学校教員

コーディネーター 石澤雅雄

京都綴方の会

鈴木君代

——

——

屋敷休憩 女性僧侶シンガー・ライブ

パネルディスカッション 第2部

現場からの報告

「出会った子を丸ごと受け止めたい」

星野由美

京都市小学校教員

——

休憩

記念講演

「経済活動は人間の営み

—— 子どもを幸せにする経済のあり方 ——」

浜 矩子

同志社大学大学院教授

閉会・連絡

17  
・  
35

17  
・  
20

15  
・  
40

15  
・  
20

14  
・  
25

13  
・  
20

12  
・  
20

11  
・  
10

10  
・  
50

10  
・  
30

10  
・  
00

分科会世話人・発表者打合せ

8月3日 (月)

8月2日 (日)

閉会全体会

龍谷大学

講座

平安高校

分科会

龍谷大学

15  
・  
00

閉会

閉会集会

感想発表・大会アピール・次回開催地発表等

13  
・  
00

開会

講演

「生きることと自己肯定感」

高垣忠一郎

京都教育センター代表

12  
・  
00

終了

詳細は次ページ

8の講座

9  
・  
00

開始



高垣忠一郎

元立命館大学大学院教授。臨床心理学。京都教育センター代表。不登校問題に、実践的にも研究面でも深く関わってこられた草分け的存在。子ども理解のキーワードとも言える「自己肯定感」について、その意味・重要性を、分かりやすく語っていただきます。

16  
・  
30

終了

詳細は次ページ

17の分科会

9  
・  
00

開始



浜矩子

同志社大学大学院教授。経済学。大学で教鞭をとるかたわら、分かりやすい言葉で経済問題を語り、新聞やテレビでも活躍中。今回の講演では、「子どもの貧困」が問題とされている今、「子どもを幸せにする経済のあり方」について、縦横に語っていただきます。

# 分科会

8月2日(日) 龍谷大学

17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
生活綴方の理論と歴史	平和・いのちの学習と子どもの表現	文学教育と作文教育	青年のことばと表現 高校(大学・専門学校)	子どものことばと表現						入門期(就学前・後)の教育とことば・表現			発達障害・特別ニーズ教育と学級づくり	育ちの課題を抱えた子どもたちのことば・表現	子どもの表現と学力	いじめ問題と学級づくり	
				中学	6年	5年	4年	3年	2年	1年							
<ul style="list-style-type: none"> <li>生活綴方を深めるための理論と歴史を探る</li> <li>綴方に関する歴史と証言</li> <li>綴方サークルの歴史と整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争と平和をどう学ぶか</li> <li>いのちの学習と人間の尊厳を育てる作文教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文学の授業の実践</li> <li>文学教材の読みと書くこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年期にとつて、綴ることの意味</li> <li>作品の読みをどう深めるか</li> <li>*この分科会は、8月3日(月)の午前中も行います</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つぶやき・日記・作文・児童詩の実践</li> <li>その学年の特徴は何か</li> <li>子どもをどうとらえるか</li> <li>書きたくなる生活をどう耕すか</li> <li>子どもは、何を、どう書いているか</li> <li>作品をどう読んだらいいのか</li> <li>どう読み合い、何をどう育てるか</li> <li>文集づくりの実践</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園・保育園の実践と1年生入門期の実践</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級・学校の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた教育実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待・貧困・不登校・家庭不和などの困難を抱えた子どもたちと作文教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書く力で育つ学力</li> <li>書きことばの獲得の意味</li> <li>学力の土台をつくる豊かな書きことばと表現</li> <li>教科における言語活動の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもをめぐる現代的課題</li> <li>いじめ問題に取り組んだ学級づくり</li> </ul>



## 大会資料代

	教職員	父母・学生 退職教職員 学童指導員
3日通し前売券	5000円	3000円
3日通し当日券	5500円	3500円
1日前売券	3000円	
1日当日券	3500円	

# 講座 8月3日(月) 平安高校

8	7	6	5	4	3	2	1
<b>移動講座 京の歴史散歩</b> 京・伏見の幕末史跡を案内します	<b>やってみよう「狂言」</b> 狂言大蔵流茂山社中の実演と指導	<b>子どものねがいから読みとく発達と障害</b> 発達障害について学ぼう	<b>困難な時代の教師を生きる</b> みんながつながって	<b>1から分かる原発・放射能問題</b> 子どもたちに語るための基礎知識	<b>児童詩教育のすすめ方</b> 詩を書くこと、読みあうことで、自分を見つめ、友だちとつながる	<b>作文教育のすすめ方</b> 生活に根ざした作文教育で育てる学力を！	<b>生活綴方の理論と実践</b> 小砂丘忠義の綴り方論に学ぶ
小松伸二(京都) 小宮山繁(京都)	川勝史朗(京都)	白石正久(龍谷大)	春日井敏之(立命大)	市川章人(京都)	山口肇(長野)	瀧史子(山口)	太郎良信(文教大)



かけっこ  
 1年  
 ぼくは かけっこ2回になりました  
 おかあさんが、  
 「もっとはしり。」  
 といいました。  
 ぼくは うんどうかいの  
 ゆめを みました。  
 ゆめは 1人で ほめられました

龍谷大学 京都市下京区七条通大宮東入大工町 125-1 TEL 075-343-3311

平安高校 京都市下京区御器屋町 30 TEL 075-361-4231

## 会場 アクセス

公共交通機関をご利用下さい

○JR「京都」下車 北西へ徒歩約20分(市バス約10分「七条大宮」下車)

○阪急「大宮」下車 南へ徒歩約30分(市バス約15分「七条大宮」下車)



大すきなお母さん 3年  
 わたしはいつも  
 お母さんのよこでねたいのに  
 弟のけんじが  
 お母さんとなりでねています  
 わたしは  
 弟がずるいなあといいたいです  
 けど  
 いったらはずかしいし  
 いいだせません  
 お母さんは  
 一番すきな人なのに